

所属名	事務事業名	ページ番号
行政マネジメント課	市民意向調査事業	2
行政マネジメント課	公共施設マネジメント事業	3

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	市民意向調査事業	事業期間	平成 14 ~ 年度
担当部署・係名	行政マネジメント課 行政マネジメント係	担当課長名	笹西 記佳
総合計画における位置づけ	政策	効果的・効率的で信頼される行政経営が行われているまち	
	施策	33効果的・効率的な行政経営の推進	
	基本事業	経営の仕組みの充実	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	総合計画の確実な実施及び進捗管理を行うため、総合計画の36施策ごとに現状評価・今後の重要度・成果目標の実績値を把握する市民意向調査を行った。				
事業の対象者	市民（無作為抽出による18歳以上の市民5,000人）				
令和6年度 主な活動実績	無作為抽出による18歳以上の市民5,000人へ調査票の送付 有効回収数：1,299人 有効回収率：26.0%				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	1,331	1,331	1,342	1,650	2,970
うち佐賀市の負担額	1,331	1,331	1,342	1,650	2,970

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
市民意向調査回答率						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
30.7	30.9 31.1	31.1 27.6	31.3 27.9	31.5 26.0		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	40代・50代の年齢層で回答率が減少したことにより、全体の調査回答率が減少した。 【40代の回答率：R5年度13.4% R6年度10.7%】 【50代の回答率：R5年度15.0% R6年度11.5%】



今後の改善策、対応策等
佐賀市総合計画の見直しに伴い、令和8年度佐賀市民意向調査から設問数や設問内容を見直ししていく。また、一つでも多くの意見を収集できるようインセンティブの付与や回収手法など調査方法の見直しも検討していく。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	公共施設マネジメント事業	事業期間	令和 6 ~ 令和 28 年度
担当部署・係名	行政マネジメント課 施設マネジメント係	担当課長名	笹西 記佳
総合計画における位置づけ	政策	効果的・効率的で信頼される行政経営が行われているまち	
	施策	効果的・効率的な行政経営の推進	
	基本事業	公有財産の適切な取得・管理	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	人口減少や今後の財源の減少が見込まれる中、公共施設等総合管理計画に基づき、公共施設の総量の最適化や長寿命化を実施し、コストの縮減及び平準化を図りつつ、公共施設の最適な配置を目指す。				
事業の対象者	施設所管職員				
令和6年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設等総合管理計画に基づく取組 ・公共施設マネジメント推進会議実施 ・公共施設白書の作成 				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	0	0	0	0	5,629
うち佐賀市の負担額	0	0	0	0	5,629

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
推進会議実施回数						回
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
					4	
					4	

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	本事業は公共施設等総合管理計画に基づき取り組んでおり、計画期間中に公共施設の総量10%削減が目標となっている。そのため、全庁横断的な推進会議を実施した。また、今年度は、白書作成のための予算であり作成し公開した。



今後の改善策、対応策等
作成した公共施設白書などの分析資料を参考にするとし、施設の所管を超えた複合化等の具体的な検討を進めることで、公共施設の稼働率を上げつつ公共施設の最適な配置を目指していく。